

街かど gallery



小 樽

県立美術館で開催された「大正・昭和の水彩画」展を見て刺激され、いつかは絵を学びたいと思いました。その後、機会があり公民館の絵画教室に入会しました。水彩画の特質である「優しさ、柔らかさ、繊細さ」を教わりながらも、今だに満足な絵が描けません。スケッチ中に「水彩画もきれいですね」と悪評をうけた事もあります。が、四季の風景を楽しみながら、目標に向かって自分なりの絵を描き続けていきたいと思っています。

八女市
大石 眞八

ハッピーワンポイント英会話

八女でホームステイ
受け入れ家庭になる編その
12

" Give me a hug! "

「ぎゅ〜っとして!」

前は、体調が悪いことを伝える表現を練習してみました。さて、今回は人の優しさ、温もりに触れたい時に使える表現です。日本人同志は、あまり抱擁をすることがありませんね。でも外国人にとって、" hug (抱擁) " は、文化のひとつです。

Emi: What's wrong, Kristen? You look sad.

(クリスティン、どうしたの? 悲しそうに見えるけど)

Kristen: Well, I've just got an e-mail from my mom. She said our dog died yesterday. Her name was Lily and she was almost 15 years old.

(ええ、母からちょうどメールが届いたところなの。昨日、私たちの犬が死んでしまったって。リリーっていう名前が15歳ぐらいだったの)

Emi: Oh, no. I'm very sorry to hear that...

(まあ... それは本当に残念ね...)

Kristen: I wish I could have stayed with her.

(リリーのそばに居てあげることができたらよかったのに)

Emi: I really understand how you feel. My family also had a dog but it died last year. We were really sad at that time. I know your feeling very much.

(本当によくわかるわ。私の家族も犬を飼っていたけど、去年死んでしまったの。その時は本当に悲しかった。だから本当にあなたの気持ちがよくわかる)

Kristen: Thanks, Emi. Give me a hug.

(エミ、ありがとう。ぎゅっとして)

Emi: Of course. (もちろんよ)

ハッピーワンポイント英会話 前回(その11)の復習

I feel sick. 「私は気分が悪いです」

ハッピーデイズイングリッシュハウス 大坪エミ

竹の子掘りは春の風物詩でもある。
竹冠に匂と書く筍は、春の味覚の代表である。
掘りたての筍の風味と歯触りなど、春限定の味を楽しみたい。
初掘りの筍届く
垣根越し
八女川柳会 安達 昇



今月の山柳

初物の
幸せ
盛った
夕の膳黒木西小学校 一年
まつおはるあ

しょうらいのゆめ

オヤジバンド立花ベンチャーズ

代表 平 泰明

楽しい仲間たち

93の国と地域が参加した東京オリンピックが、1964年に開催されました。その終了二ヶ月後、日本の音楽シーンにとって忘れる事の出来ない四人組が来日しました。それが、日本中に大エレキブームを巻き起こした、ザ・ベンチャーズです。そのベンチャーズ好きが集まり出来たバンドが、立花ベンチャーズです。

バンド結成のきっかけは六年前ベンチャーズのライブ会場で、私が小学校時代の恩師との出会いでした。そこから、メンバー探しが始まり、と同時に猛練習。オリジナルメンバーは全員立花町ですが、仕事の都合などで、時々他のメンバーに手伝ってもらっています。

現在では、お呼びが掛ければ、地域の祭りや、ライブイベント等のステージで楽しく演奏しています。勿論プロの様には弾けません但し団塊の世代の方々に大変喜んで戴いています。

そして、五年前から年に一度体育の日に、夢たちばなビレッジキャンプ場で、ベンチャーズコピーバンドを中心に九州各地より十数バンド集まり、ベンチャーズサウンドフェスティバルと題して朝から夕方まで楽しんでいます。

懐かしのテケテケサウンドを聴いてみたい方は、是非御来場下さい。



御前岳から釈迦岳(1231m)を周回

今年の冬は飛び抜けて寒い。ただ良いこともある。登山好きの私達にとって、雪がやみ晴れ上がった翌日は、格別きれいな山の姿をみることができる。気温は一日中氷点下、しかし心は熱い一日を体験した。雪化粧の釈迦岳は鋭くそびえたつ福岡県の最高峰で、原生林のトンネルをくぐり、急斜面の岩場を鎖やロープを使って山頂をめざす。

途中見上げると、紺碧の空に樹氷が広がりコントラストが一段と際立っている。すると粉雪がキラキラと宙を舞いながら消えていく瞬間に『キレイー、素晴らしい!』と歓声があがる。

冬山は人を寄せつけない厳しさもあるけれど、優しく清々しい気持ちにさせてくれる。

又山頂からは雲仙や阿蘇山、久住山の稜線がきれいに見えた。今日は気象判断が的中して、日常生活では見ることができない白銀の世界を堪能した一日だった。

八女文化連盟写真部
樋口 清人



山登りだよ人生は!

